

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ドル)	日本円	備考
授業料	10800 \$	1,512,000 円	1ドル 140 円計算
宿舍費	10,000\$	1,400,000 円	
食費	6,000	840,000 円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	588\$	82,320 円	
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		118,150 円	形態: 大学指定の保険
渡航旅費		325,040 円	
ビザ申請費		50,000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計		4,327,510 円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地: 成田空港 目的地: サンフランシスコ 経由地:	
復路 出発地: サンフランシスコ 目的地: 成田空港 経由地:	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: JAL 料金: 325,040 円	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: エアトリ) <input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:特になし。寮と言うよりシェアハウスのようなイメージ) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2)	
3)共有部分	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
大学で寮生活者を募集しているのでそこに申し込む	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
調理器具は備え付けではないので同じ寮の人達に借りることになる。寮の人が全員料理をしない人だと家で一切料理できないなんてこともあり得るので注意。	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所:)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等:)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?	
大学内で事件が起きると大学側がメールで連絡してくれるので、事件があれば簡単に知ることが出来る。夜間はあまり出歩かないなどの基本的な防犯対策を行い、事件に巻き込まれることはなかった。	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
大学内では建物付近であれば基本的に WIFI に接続可能で、接続状況は常に安定していた。ただ、数ヶ月に 1 度パスワードの変更を行わなければならない、全ての電子機器のパスワードを変更するのが面倒と言えば面倒だった。	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
クレジットカードを使用していた。クレジットカードがあれば基本的に問題なく生活できる。	
6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。	
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)	
クレジットカードで支払った。支払時期は学期が始まる 2 週間前までくらい。理由を説明すれば支払い遅れも認められる。	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった:1 学期に 12 単位を取らなければいけないが、13 単位以上をとることになると追加で授業料を支払うことになる	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Economics Statistics	経済学統計
科目設置学部・研究科	経済学部
履修期間	1 学期
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 110 分が 2 回
担当教授	Samual Riewe
授業内容	統計学の基本的な説明とその実践方法。エクセルを使うのでエクセルの習熟にも繋がる。
試験・課題など	試験は 1 学期に 3 回、自分のノートパソコンを使って教室で行われる。最終課題としてレポートを提出する必要がある。
感想を自由記入	日本との違いを知ってみたいだったので統計学の授業をとった。とにかく実践重視でこの知識いつ使うんだよ、みたいな内容が一切ない。覚えることが集約されているので勉強が捗る。また、覚えた内容を実践する時間が授業中にあるが、その問題内容が先生が実際に論文を書くときに使った? ものらしく、社会に出てからも使えるんだというやる気も出た。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Business Statistics		経営学統計	
科目設置学部・研究科	経営学部		
履修期間	1 学期		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 110 分が 2 回		
担当教授	Damien Willson		
授業内容	統計学の授業。		
試験・課題など	試験は 1 学期に 3 回、オンラインで試験を行う。最終課題としてレポートあり。		
感想を自由記入	授業内容は経済学統計と同じようなものだったが、指導の仕方が全く違うのが面白かった。こちらは最低限必要な内容を 1 回目の授業で教えると、2 回目の授業で問題を出して生徒に解かせるという方法をとっている。この問題がなかなか難しく、自力で解けるかどうかは 5 分 5 分といったところ。考える分このやり方も定着しやすいように感じた。ただ、統計の授業を 2 つとるより、別の授業を受けてみた方がよかったなと少し反省している。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
First-Year Composition		1 年次英語	
科目設置学部・研究科	英語学		
履修期間	1 学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	オンライン(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Anthony Rizutto		
授業内容	人種差別について書いてベストセラーになった(らしい)“So You Want to Talk about Race”という本を読んできて、その内容や感想について話し合うという授業。また、レポートの作成方法についても学ぶ。		
試験・課題など	毎週読んできた内容について要約して感想を書いて提出する。試験はなく中間、最終課題としてレポートを書くが、このレポートに要求される条件や文字数が厳しい。		
感想を自由記入	まず、この授業で読んでいた本の内容が、白人と黒人のハーフであり、シングルマザーで子ども 2 人を育てており、性自認が queer (LGBTQ の Q) であるという作者が自身の経験から人種差別について語っていくというもの。「白人と黒人のハーフであるというだけで黒人の母親がレイプされて生まれた子と言われる(意識)」みたいな内容がそこら中に出てきて、本を読んでいる間ずっと異次元の話をしているような気分になってくる。文字として内容は理解できるが正しく理解できている気がしない。レポートの書き方を学びたくて選んだ授業だったが、本の内容も課題もとてもハードだった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Weight Training		ウェイトトレーニング
科目設置学部・研究科	運動	
履修期間	1 学期	
単位数	1	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	実践(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 50 分が 2 回	
担当教授		
授業内容	各自マシンや重りを使った筋トレ	
試験・課題など		
感想を自由記入	12 単位に 1 足りなかったのとった。指導員の先生がいて質問しやすく、道具も豊富にそろっていて筋トレ初心者優しい授業だった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
International Economics		国際経済
科目設置学部・研究科	経済学	
履修期間	1 学期	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 110 分が 2 回	
担当教授	Professor Kim	
授業内容	国際的な観点から見た経済学	
試験・課題など	試験は計 3 回。レポート課題もある。	
感想を自由記入	先生の授業がこの上なくわかりやすい。ここで書いても詮無いが興味があるならとってみるべき。この授業も実際の国際関係について話してくれるので実感がわきやすい。たまにする雑談も、大学経営に携わっている人からのぶっちゃけ話という感じで面白い。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Labor Economics		労働者視点の経済
科目設置学部・研究科	経済学	
履修期間	1 学期	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 110 分が 2 回	
担当教授		
授業内容	物価や給料といった労働者目線で大切な内容について経済学的に考える	
試験・課題など	オンラインでの課題が 3 回	
感想を自由記入	授業内容は面白かったが、経済学の論文を計 10 本程読む必要がありもう受けたくないと思うぐらい辛かった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
First-Year Composition		1 年次英語
科目設置学部・研究科	英語	
履修期間	1 学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回	
担当教授		
授業内容	毎回指定された物語やポエムを読んできてその内容について話し合う授業	
試験・課題など	オンラインでの試験が 3 回	
感想を自由記入	物語を読んでいる間はアメリカで名作とされる物語ばかり読んでくることになるので読んでいて結構楽しい。"The Lottery"は個人的にハマったので皆さんも是非読んでみて欲しい。ただ、ポエムは何を言っているのかよく分からなかった。アメリカ人が俳句を理解するのは大変だろうし、それと同じで私がポエムを理解するのは困難だった。先生が指定してくる物語には人種差別や性差別の話が多く、やはりアメリカではそれらが社会問題になっているんだなあ、と思わされた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Basketball		バスケットボール	
科目設置学部・研究科	運動		
履修期間	1 学期		
単位数	1		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	実践(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 2 回		
担当教授			
授業内容	バスケットをする		
試験・課題など			
感想を自由記入	1 単位足りなかったのと、アメリカのバスケットに興味があったのでとった。ドリブルは上手いがシュート下手、といったように一点特化の人が多かったのが印象的。また、日本でバスケットやってる人は筋肉が薄い人が多いが、この授業を受けていた人達は筋肉が分厚い人が多かった。おそらく週3くらいでジム通いしていると思う。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
アスプラという就活支援の企業、明治の就活支援センター
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
岡三証券
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
今は面接がほしいオンラインで行われます。理由を説明すれば全ての面接をオンラインで実施してくれる企業もあります。なので、留学しているから就職できないなんてことはありません。ただ、時差が結構大きいので朝 2 時に面接するということがないので、それは頑張ってください。就職活動が上手いかわからなくても何がいけないのか分からないという問題がありますが、明治の就職支援センターがオンラインで就活対策をしてくれているので是非活用しましょう。 留学しながらの就活も悪いことばかりではありません。面接の自己紹介で今カリフォルニアに居ます、とか言えば面接官も結構興味を持ってくれます。睡眠時間が削れることに目をつぶれば就活は問題なく行えます。とりあえず就活が心配なら就活支援センターに行きましょう。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	語学試験の勉強、留学プログラムへの出願
	10月～12月	選考
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保
	8月～9月	留学開始、中間試験
	10月～12月	中間試験、期末試験
留学/帰国年	1月～3月	中間試験
	4月～7月	中間試験、期末試験
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

この留学先を選んだのは田舎の方にいけばアメリカらしさというものを感じ取れるんじゃないかと思ったからです。環境に甘えたなというのが自分の留学の印象です。たしかに、日本とは全く違うなという経験をたくさんすることが出来ました。全体的に薄いんです。それはもう、具体的な話をしようと思ってもパツと出てこないくらいに。

留学目標を定めてその目標を達成するための場所を選ぶのは大切です。ですが、それにかまけてはいけません。環境を変えればなんとかなると思っていると、私のように語れるものが何もない留学になってしまいます。目標を決め、環境を整え、その上で自発的な行動をとり続けていかなければいけません。これが私の失敗から来る反省であり、皆さんへのアドバイスです。

皆さんが悔いのない留学ができるように祈っております。